

平成29年度「図書総点検」結果

平成30年2月7日

<日程>

11月28日(火)～12月8日(金) 11日間

<点検対象・総数>

開架閲覧室、書庫資料、地図資料など 約48万点

<点検結果>

今年度点検分については、新たに71点(図書68点 雑誌3点)が所在不明となったことがわかりました。

<その他>

- ・年々増加する資料の収蔵に対応するため、閉架書庫の図書の移動作業を行いました。
- ・館内サインをリニューアルしました。
- ・新たにビジネス支援コーナーの設置作業を行いました。

<概要>

11月28日(火)～12月8日(金)の11日間にわたり「図書総点検」を行いました。

期間中は館内資料の完全配列、移動作業、蔵書データの突き合わせ作業等を行い、迅速かつ確実なサービスを行うための態勢を整えることができました。

<目的>

当館は100万点を超える蔵書があります。これらの中から、迅速かつ確実に資料を探し出すためには、コンピュータのデータどおり正しい場所に資料が置かれている必要があります。そのため、実際に書架にある資料とコンピュータのデータを突き合わせ、正しい場所に置き直したり、資料のデータやコンピュータのデータを必要に応じて変更・訂正する必要があります。この作業を「図書総点検」と呼び、当館では年1回定期的実施しています。

<日程>

蔵書冊数が多い当館の場合は、一度に全蔵書を点検することは日程上困難なため、4年サイクルで一巡するよう蔵書を分けて点検(開架閲覧室の資料は毎年点検)しています。利用者のみなさまにできるだけご迷惑がかからないよう、利用が比較的少ない時期を選びました。

<点検方法>

- 1 館内の全蔵書を背ラベルどおりに完全配列します
- 2 ポータブルのバーコード読み取り機を使って、点検箇所の全ての資料のバーコードを1冊1冊読み取ります
- 3 読み込んだデータと蔵書のデータを機械的に突き合わせます
所在場所とデータが違う資料や、所在が不明な資料等、問題がある資料がリストに打ち出されます
- 4 リストに従い、所在不明の資料が書架の奥に落ちていないか、間違った場所に置かれていないかなどを探索します
- 5 発見された資料のラベルやデータを正しく修正したり、どうしても見つからなかった資料を不明図書扱いに変更します

利用者みなさまには、当館の資料の整備にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。